

# 飛騨高山観光特集

## ウィズ・アフターコロナ時代の高山観光

別  
インタビュー

### 20年の観光客は減少

### 秋の高山祭に期待

### 知恵と工夫で新事業

新型コロナウイルスの流行は飛騨高山観光にも大きな影響を及ぼし、観光名所・古い町並などを歩く観光客の姿がめっきりと減った。逆風にあえぐ観光業界だが、その中で新しい芽も育ち始めている。飛騨・高山観光コンベンション協会の堀泰則会長(ひだホテルプラザ会長)に観光復活に賭ける思いを聞いた。聞き手は論説委員の内井高弘。(3月上旬、協会事務所)

「2020年は新型コロナウイルスが猛威を振るい、観光業界も大きなダメージを受けました。高山はいろいろ受けた。大変厳しい状況で、これまで客足が落ち込んだのは初めてです。19年は47.3万人の入込込みがあったのですが、20年は33.0万人にとどまりました。宿泊客も同様で、22.7万人から10.7万人と減少しています。外国人観光客も10万9千人ほどで、前年比8割減となりました。1、2月は万単位で来ていたのですが、4月以降はガクッと減りましたね」

「コロナの影響で売り上げが減少し、倒産や廃業に追い込まれた旅館・ホテルはあります。」「それまで景気が良かったこともあり、高山市内で大きな倒産はありませんでした。廃業は一軒あったものの、これは後継者の問題と聞いています」

「20年はコロナの影響もあり、春の高山祭は規模を縮小して開催となりました。今年はどうなるのでしょうか。」「例年通り、春(山王祭)は4月14、15日に開催します。神事は行いますが、屋台の置き撤去やからくり奉納、夜祭りは中止となります。ただ、屋台感に入っている屋台は見ることが出来ます。秋(八幡祭)10月9、10日開催については現段階では何ともいえないですが、ワクチン接種が始まっており、また東京五輪・

「併せてエリアも広く、東京都とほぼ同じ面積です。効率的に回っていただく。20年12月に『濃色 飛騨高山』というハンドブックを7万部作りました。有名な観光スポットはもちろん、その場所では味わえない体験などを網羅しており、利用者の評判もいよつづです」

### 飛騨・高山観光コンベンション協会会長 堀 泰則氏



「情報発信体制も変わりました。」「これまで、観光の公式ウェブサイトは市のホームページと別々でしたが、今年1月に統合され、協会運営することになりました。自治体ではいろいろな制約がありますが、民間ならではの発想で使い勝手のいいサイトにします。API(アプリケーション)やクラウドファンディング、インナーフェード連携を進めたいです。宿泊予約は、ホテルのサイトを入れ、グルメではホットスポットと連携しています」

「MICEの誘致も熱心です。」「宿泊施設に加え、市民文化会館や飛騨高山ヒックアリーナなどコンベンション施設も充実しています。施設の規模、機能に関しては県内随一だと思います。また、近い将来、8千人ほどの収容能力がある施設ができる予定です。これがコンベンション施設として利用できれば大規模会議にも対応できます」

「誘致の誘致も成果が表れ、日本政府観光局(JTO)の『国際会議誘致・開催貢献賞』(20年度)に、19年9月に高山で実施された国際会議の主催団体(第5回国際革新・地域通貨国際会議飛騨高山大会組織委員会)が受賞しました。約350人が参加し、うち外国人は21カ国・地域から約50人でした」

「堀会長は、高山を起点にさまざまな観光地に行ける『高山ハブ化』構想を掲げています。」「マイカー需要の取り込みや、公共交通の整備も進み、永平寺や上高地、立山黒部アルペンルートなど主要観光地も1日圏内に入り、ワンテールリップの基地として十分な機能を果たせるようになってきました。コロナの流行で観光業界は厳しい状況にありますが、高山観光の先行きは明るいと思えます。コロナが落ち着いたらぜひ高山に来ていただきたい。お待ちしております」

「旅館・ホテルの建設ラッシュは続いており、今年もホテルイングリタナ・ナショナル、HOTEL Arund TAKAYAMAなどが新規オープンする予定です。20年4月現在のルーム総数は約3200ですが、24年4月には4千を超えそうです。地方都市で4千というのは非常に大きな数字で、近辺では名古屋や金沢くらいです」

「旅館・ホテルの建設ラッシュは続いており、今年もホテルイングリタナ・ナショナル、HOTEL Arund TAKAYAMAなどが新規オープンする予定です。20年4月現在のルーム総数は約3200ですが、24年4月には4千を超えそうです。地方都市で4千というのは非常に大きな数字で、近辺では名古屋や金沢くらいです」

### 公式観光HPを一本化

### 部屋数は24年に4000室

### 「高山ハブ化」構想推進

「イベントも軒並み中止になり、暗いムードになりがちですが、明るい話題はあります。」「飛騨地域限定の電子通貨『さるぼほコイン』を活用した『スマホでお得旅キャンペーン』を20年7月から開始しました。市内の旅館・ホテルが作成した宿泊専用アプリをスマホから予約した宿泊客に対し、予約額に

「旅館・ホテルの建設ラッシュは続いており、今年もホテルイングリタナ・ナショナル、HOTEL Arund TAKAYAMAなどが新規オープンする予定です。20年4月現在のルーム総数は約3200ですが、24年4月には4千を超えそうです。地方都市で4千というのは非常に大きな数字で、近辺では名古屋や金沢くらいです」

### 厳しい環境下でも成果上げる事業

### コンベンション誘致

### JNTOから表彰

高山市民文化会館や飛騨・世界生活文化センターなど充実した施設、機能を持つ高山市は、コンベンション誘致に熱心で、実績も上げています。飛騨・高山観光コンベンション協会が主催したコンベンションは、2019年度で99件(参加人数約4万4500人)に上り、うち国際会議は4件あった。

「JNTOから表彰された貨幣革新・地域通貨国際会議飛騨高山大会の一コマ」

### スマホでお得旅

### 電子地域通貨を活用

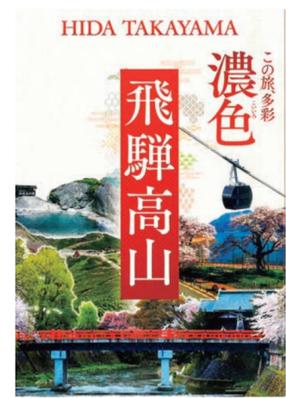
新型コロナウイルスの流行で観光客が落ち込む中、飛騨・高山観光コンベンション協会が果敢に取り組んだのが、ウィズコロナ時代の観光振興策といえる。飛騨地域限定の電子通貨『さるぼほコイン』を20年7月から開始した。昨年7月から開始した。さるぼほコインは観光施設、バス、タクシー、土産物屋、カフェ、居酒屋など約1500店舗で使える電子地域通貨。チャージ機能が付いた一般的な決済サービス。全国の7つの銀行ATMや中橋観光案内所などに設置した専用チャージ専用機でコインをチャージできる。キャンペーンは毎月21日エックアウト日まで実施された。また、JR東海アースなど主要旅行会社が作成した商品で、JRを利用して高山に泊まった人に対してさるぼほコインのポイントを2千ポイントプレゼントする事業についても3月末まで実施している。

「旅館・ホテルの建設ラッシュは続いており、今年もホテルイングリタナ・ナショナル、HOTEL Arund TAKAYAMAなどが新規オープンする予定です。20年4月現在のルーム総数は約3200ですが、24年4月には4千を超えそうです。地方都市で4千というのは非常に大きな数字で、近辺では名古屋や金沢くらいです」

「旅館・ホテルの建設ラッシュは続いており、今年もホテルイングリタナ・ナショナル、HOTEL Arund TAKAYAMAなどが新規オープンする予定です。20年4月現在のルーム総数は約3200ですが、24年4月には4千を超えそうです。地方都市で4千というのは非常に大きな数字で、近辺では名古屋や金沢くらいです」

### 近場観光対応冊子

### 見せ方工夫、周遊の手引き



「旅館・ホテルの建設ラッシュは続いており、今年もホテルイングリタナ・ナショナル、HOTEL Arund TAKAYAMAなどが新規オープンする予定です。20年4月現在のルーム総数は約3200ですが、24年4月には4千を超えそうです。地方都市で4千というのは非常に大きな数字で、近辺では名古屋や金沢くらいです」

「旅館・ホテルの建設ラッシュは続いており、今年もホテルイングリタナ・ナショナル、HOTEL Arund TAKAYAMAなどが新規オープンする予定です。20年4月現在のルーム総数は約3200ですが、24年4月には4千を超えそうです。地方都市で4千というのは非常に大きな数字で、近辺では名古屋や金沢くらいです」